

第 1 回懇話会の質問に対する回答

1 第1回懇話会の質問に対する回答

	項目	質問・意見概要	回答
1	今後の懇話会の議題方針	施設計画の「施設計画の知事局棟の改修計画」、「庁舎規模の算定」、「仮設計画・工程計画」については、第3回目の報告になっているが、考え方だけでも、 第2回目に行って欲しい 。この考え方によって、大きな影響があるため、方向性は、第2回目に示して欲しい。	別紙資料6により、本日説明します。
2	庁外からの意見聴取方法	協働について、ワークショップは学生、アンケートはNP0、市町村などを対象としているが、 これらの振り分けはどのような基準で考えられたものか（特にアンケートとワークショップの区別） 。	ワークショップは、対話や議論を通じて意見を深掘りし、新たな気づきや発想を引き出すことを目的としており、比較的参加しやすく将来を担う学生を対象としています。 一方、アンケートは、一定の数を対象に幅広く意見を把握することを目的としており、NP0や市町村等を対象としています。
3	庁外からの意見聴取方法	庁外からの意見聴取については、 周辺商店街への情報提供や意見聴取があると良い と思います。	庁舎整備に関する庁外からの意見聴取については、特定の地域や団体に偏ることなく、県民全体から幅広く意見を伺うことが重要と認識しています。このため、パブリックコメントの実施などにより、広く県民の皆様に情報提供を行うとともに、公平性に配慮した形で意見聴取を行っていきます。内丸地区等周辺商店街に対しては、検討段階に応じて必要な情報提供を行っていきます。

1 第1回懇話会の質問に対する回答

	項目	質問・意見概要	回答
4	ワークショップ	これからを担い、また岩手県在住している 中高生も対象にして欲しい 。大学生は、県内外出身者であり、いろいろな視点はあり得るが、将来のことを考えると、中高生も対象にした方が、多くの考えが示せると考える。	御提言のとおり、岩手の未来を担う中高生から意見聴取していくことは重要な視点と考えます。子どもモニターアンケートなどを活用して、中高生の方々にも県庁舎再整備に興味を持っていただくような取組を推進していきます。
5		職員ワークショップの対象を本庁舎のみならず、 出先メンバーを入れたり、県内の出身地を、盛岡市とそれ以外のメンバーに分けて入れて欲しい 。	職員ワークショップの参加者については、県内4振興局からも少なくとも1名ずつ選出するなど、地域バランスにも配慮した人選を行いました。
6	全体	すべての議題に関わることですが、議会棟の建て替えですので、新庁舎には県議会が入ることが前提となっているかと存じます。昨年度、基本構想策定に当たっては県議会から意見聴取を行うなどして議論を進めてきたかと存じますが、今回の資料には県議会部分の計画策定についての説明がないように思います。本懇話会の守備範囲を明確にしておくという点で、 基本計画においては知事部局部分のみの議論でよいのか確認させてください 。もしそうであれば、県議会側とどのような役割分担等を行ったのかについてお聞かせください。また、そうでないのであれば、基本計画に向けた県議会の意見聴取方法についてのご説明をお願いいたします。	懇話会においては、行政機能のみならず、議会機能も一体的に議論いただくこととしております。 また、議会機能については、懇話会の議論と並行して、「新議会棟の在り方検討会議」において、県議会から意見聴取をすることとしており、今年度策定の基本計画に向けて、必要な諸室、機能、配置等の検討を行うこととしています。